

株式会社 カーボテック

<http://www.carbo-tec.co.jp/index.html>

所在地 京都府京都市中京区竹屋町通堺町東入ル絹屋町117 TEL&FAX 075-754-0020 075-754-0021
代表者 代表取締役 石橋 昇 創設年月日 1998年7月 資本金 5,540万円 従業員数 5人

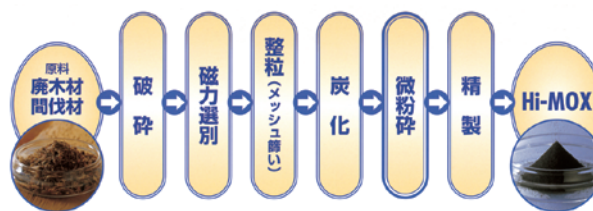
事業内容

株式会社カーボテックは、廃木材等未利用バイオマスに無機質粉末を複合処理した後に炭化する独自の炭化／活性炭化技術（複合炭化方式）を基礎とし、高度な炭素多孔体を生成し、無機質の特性を効率的に付与することが可能な活性炭を製造し、以下の事業に取り組んでいる。

- ・ダイオキシン吸着剤・水質浄化材・土壌改良材・住宅調湿材等リサイクル活性炭・炭素製品の開発・販売
- ・リサイクル炭化装置・関連機器の開発・販売
- ・リサイクル事業のコンサルティング



【粉末活性炭ハイモックスDC-P1】



【新複合炭化システムフロー図】

知的財産活用事例

株式会社カーボテックの取扱い製品は、規制当局が定める一定レベルにある製品を対象とするため、抜きんでたスペックの製品は必要なく、製造技術等を知的財産化するよりも、むしろノウハウとして製造販売する戦略をとっており、その成果の1つが、新複合炭化システムを活用した「粉末活性炭ハイモックスDC-P1」である。

環境に対する国際的意識や、健康に対する関心は年々高まってきており、大気汚染の原因でもあるダイオキシンをはじめとする有害物質の高レベル吸着剤の開発、水質浄化用吸着剤の開発も継続している。

知的財産の創出や活用に関する取組

株式会社カーボテックのような研究開発型企業にとっては、技術シーズ元である大学や研究機関とのつながりが非常に重要である。

そのため、研究開発が成功し、製品化を達成した後も、緊密な関係を維持するべく定例の研究会を設置し、活性炭に関する広範囲の研究調査を継続できるよう取り組んでいる。これにより、新規事業の開拓と規制変化への迅速な対応を可能にしている。

これらの取り組みに対する知的財産の戦略は必要に応じ講じており、経営者以外に知的財産の取扱いを管理する担当人員の配置を行うとともに、社外のアドバイザーも重要であるので、かかりつけ弁理士等を有効的に活用している。

起業を目指す人への知的財産に関するアドバイス

人間の住環境を保全する環境産業において、規制当局の定める基準値を達成させるスペック以上の製品は、得てして過剰スペックによる製品価格の上昇につながり、ビジネス上有益ではない。

そのため、市場に合った仕様に基づき、市場に受け入れられる価格での販売を考慮しなければならないことに注意を要し、「知的財産の取得」と「開発に対する投資」は市場に合わせた取組が必要である。